記者発表資料

がんばろう！東北

平成２７年５月１３日
東 北 地 方 整 備 局

～本格的な出水期に備え防災体制を確認～

洪水対応演習に東北で初めてタイムラインを活用

国土交通省東北地方整備局では、毎年、本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防破堤等の重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しております。

この「演習」は、地域の防災活動の適切な判断・行動につなげるよう洪水時の河川・ダムの水位、流量などの情報を関係機関に迅速かつ的確に伝達し、洪水時の防災体制に万全を期するために実施しているものです。

◆ **実施日時**

平成27年5月19日（火）　9時00分～17時00分

※ただし、当日の洪水や地震の発生等により中止となる場合があります。

◆ **実施場所**

東北地方整備局内（2階　災害対策室）　各事務所は事務所内

◆ **参加機関**

東北地方整備局、東北管内12河川事務所、20ダム（管理・建設）
東北6県、関係市町村、各地方（管区）気象台などの関係機関　：約700名参加
（県管理の河川やダム、発電用ダムなども県・市町村等関係機関の協力のもと連携して実施します）

◆ **実施内容【タイムライン※を活用した関係機関への情報提供】**

①洪水予報・水防警報指定河川の情報伝達演習
②ホットライン（電話）による事務所長と市町村長との情報提供・共有演習
③整備局と事務所間の情報伝達演習
　○TV会議による情報伝達訓練は、
　10時30分～11時30分、13時30分～14時30分頃を予定（過去の模様は別紙）
④河川巡視点検及び報告などの演習・訓練
⑤関係市町村への「リエゾン」を派遣し、情報伝達・収集演習
⑥堤防破堤等被災箇所の緊急復旧計画、工法の検討　　など

※タイムラインとは

大規模水災害の発災前から各関係機関が迅速で的確な対応をとるためには、いつ、だれが、どのように何をするのかをあらかじめ明確にしておくとともに、それぞれ他の関係機関がどのような対応を取るのかを把握しておくことが必要となることから、関係機関協働による防災対応計画を構築したもの。
東北管内では平成26年度に12水系15河川21市町を対象に第一次案を策定済。

◆ **取材について**

・取材にあたっては、事前に以下の問い合わせ先へご連絡願います。
・取材は、担当者の指示に従ってください。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

＜問合せ先＞国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区二日町9－15　（TEL:022-225-2171）（代表）
河川部　水災害予報センター長　山谷（やまや）　博志　（内線3521）
洪 水 予 測 専 門 官　清水野（しみずの）　豊　（内線3522）

【　過去の実施状況　】

◆ＴＶ会議による情報伝達状況◆



